

## ■米国：米国と中国がクリーンエネルギー技術で共同イニシアチブを発表

オバマ大統領と中国の胡錦濤国家主席は 2009 年 11 月 17 日、クリーンエネルギー技術開発推進に向けた米中共同イニシアチブを発表した。世界各国で温室効果ガス抑制への取組がおこなわれている中、石炭を継続的にエネルギー源として利用したい米中両国にとって、クリーンコール技術と、燃焼ガス中に含まれる CO<sub>2</sub> を地中に隔離する CCS 技術の開発が将来的に重要となることから今回の合意に至った。既に米国側からは、石炭事業者である Peabody Energy 社（本社：ミズリー州）、GE 社、AES 社（本社：バージニア州）の技術協力が発表されている。オバマ大統領より発表された共同イニシアチブの具体的内容は、1) 石炭ガス化複合発電 (IGCC) 開発支援として、米国貿易開発局 (TDA) から China Power Engineering and Consulting Group 社へ助成金を交付すること、2) Peabody Energy 社が、中国の大手電力数社により実施されているゼロ・エミッション石炭火力発電プロジェクト (GreenGen プロジェクト) に参加すること、3) GE 社と中国神華 (Shenhua) 社が IGCC およびクリーンコール技術を共同開発すること、4) AES 社と松藻 (Songzao) 石炭発電会社が共同で重慶の炭鉱からメタンガスを回収し、ガス発電に利用することとなっている。